

セーフコミュニティ かめおか

けがや事故を予防しよう



Vol.29 平成30年3月号

セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は国内で初めてSCの認証を取得しました。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺、高齢者の安全対策、交通安全対策、防犯、スポーツの安全対策、乳幼児の安全対策の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

3月は自殺対策強化月間です

悩んでいる方はひとりで抱えず相談してください

3月は最も自殺者数が多いことから、国により「自殺対策強化月間」と定められています。

セーフコミュニティ自殺対策委員会では、3月1日にJR亀岡駅や市内のスーパーで相談窓口の一覧等が入った啓発物品を配布し、自殺は身近な問題であることに気づいていただくよう街頭啓発活動を行いました。

一人でも多くの方が周りの人の変化に気づき、自殺を予防できるまちを目指していきます。



理容師さん向けのゲートキーパー研修が開催されました

ゲートキーパーの養成を進めています

2月19日、理容師さんを対象としたゲートキーパー養成研修が開催されました。

ゲートキーパーとは、自殺の危険サインに気づき、適切な対応(話を聞くなど)が出来る人のことで、自殺対策委員会では取組の一つとして、ゲートキーパーの養成を進めています。

研修当日は、20名を超える参加者に対して、講師の松田美枝委員長(京都文教大学講師)からは、悩んでいる人の話を聞く上でのポイントや相談先へのつなぎ方などについてお話いただきました。



セーフコミュニティ活動が広がっています

国内のSC認証自治体が15市区町となりました

2月2日、福島県郡山市が国内で15番目となるセーフコミュニティの認証を受けました。

日本では、亀岡市が平成20年に国内で最初の認証を取得しましたが、10年が経過する中でその活動は全国に広がってきました。認証自治体は相互に情報交換をするべくネットワークを構築しており、他自治体の取り組みも参考にしながら取組を進化させています。

今後も連携を深める中で、亀岡市は7月に予定している再々認証の本審査に向けて、より充実した活動を続けていきます。



セーフコミュニティ事前審査の振り返り

より効果的な予防対策を実施するために

2月23日に今年度第2回目のセーフコミュニティ推進協議会を開催しました。

昨年の11月27日~12月1日にかけて実施した事前審査の振り返りを行い、今後の取り組みと次回の本審査に向けて意見交換を行いました。

日本SC推進機構の白石代表理事からは、これまでの取り組みを高く評価いただきと共に、今後も市民の方の積極的な参加により、安全安心感を高めるような取り組みを継続してほしいと期待を寄せられていました。



セーフコミュニティ応援隊を募集しています

安全安心に関する活動にご協力ください

亀岡市では、SC活動に携わっていただく市民ボランティアとして「セーフコミュニティ応援隊」を設け、様々な活動に協力いただいています。

役割としては、セーフコミュニティ情報の発信やボランティアへの参加をお願いしています。

現在、53名の方に登録いただいております。当ニュースの表面に記載の街頭啓発にも協力いただいたところです。

登録を希望される場合は、下記連絡先もしくはQRコードでも申請いただけますので、ぜひご登録をお願いします。登録された方に対しては「セーフコミュニティニュース」を送らせていただきます。

【QRコード】⇒



インターナショナルセーフスクール

安全で安心な学校・保育所・保育園づくり

セーフスクールとは

体と心のけがやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全・安心な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール(ISS)です。

亀岡市立曾我部小学校、社会福祉法人^{ほうじょうかい}倣襄会亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所8カ所(本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津)がISS認証を取得し、現在も取り組みを進めています。

小学校に来たら、こんなことに気を付けてね！

曾我部小学校と中部保育所のISS交流会

3月6日、中部保育所で曾我部小学校の1年生と中部保育所の5歳児がISSを通して交流しました。この交流会は、それぞれがISSに取り組み始めた時から始まり、今回で5回目になります。

曾我部小学校の児童たちは、登下校時や掃除の時の注意点や、友達と仲良く遊ぶことなど寸劇を入れながら発表し、保育園児にも分かりやすく伝えました。

児童と園児たちは仲良く交流し、園児たちは小学校生活に思いを馳せていました。



駐車場では親子で手をつなごう

別院保育所のISSげんきっこプロジェクト

別院保育所では、保育所内の安全を保護者も一緒に考えてもらう機会として、ISSに親子で取り組んでもらう「ISSげんきっこプロジェクト」を実施しています。

その取り組みの一環として、送迎時に駐車場で事故に遭わないように、「おやこでてをつなごう」という約束を書いた看板を、5歳児とその保護者が卒園記念として作成しました。

保護者も主体的に関わっていただくことにより、保育所の安全意識がさらに高まっています。



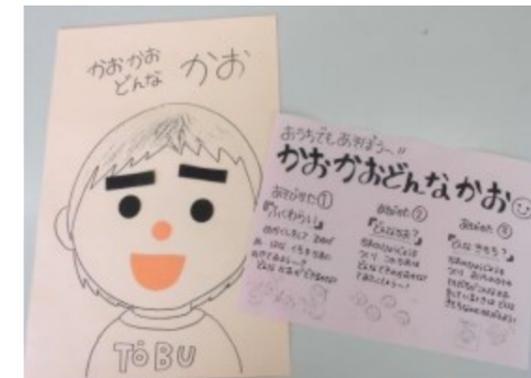
どんなかおをしているかな？

東部保育所のこころのISS

東部保育所では、「こころのISS」として子どもたちの心を育てる取組に力を入れています。

その取組の一環で、いろいろな表情に隠されている相手の気持ちに気づき考える力を季節のあそび(福笑い)を通して身に付けてほしいと考え、「かおかおどんなかお」を作成し、3・4・5歳児の家庭に持ち帰ってもらいました。

保育所でも、かおあそびを通してうれしいかお・たのしいかお・かなしいかお・おこっているかおなど、相手の気持ちに気づき考えたりできるように友だち同士で話し合っています。



安全安心クッキング！

川東保育所の料理教室

川東保育所では、5歳児が自分たちで育てた畑の大根を使って料理教室を開催しました。

ピーラーや包丁で手を切らないように軍手を着用したり、ホットプレートで火傷をしないようにダンボールで作った「ホットプレートガード」を使用するなど、安全で楽しくクッキングを行うことができるようにしています。

けがの危険のある道具をしっかり使えるようになることで、保育所の安全だけでなく家庭での安全にも繋がられるようにしています。



皆さんおはようございます！

第六保育所の挨拶運動

第六保育所では、5歳児が朝に玄関で挨拶運動をしています。挨拶当番が元気よく挨拶をすることで、登所してきた子どもたちも保護者も、笑顔で気持ち良く一日を迎えられます。

挨拶を通してコミュニケーション力を高め、お互いの心地よい関係を作ることで、子どもたちが仲良く過ごせる保育所になることを目指しています。

